

図書館だより

SEP.2020
No.87



今年こそ、読書の秋にしたい
新型コロナ禍の図書館

独立行政法人 国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Miyakonojo College

目 次

読書に関する名言・格言	図書館長 笹谷 浩一郎	1
私の読書の始まり	物質工学科 平沢 大樹	4
読書を通して感じたこと	物質工学科 藺田 史恵	6
今年こそ、読書の秋にしたい		8
新型コロナ禍の図書館		10
新着図書を紹介・編集後記		12

読書に関する名言・格言



図書館長 笹谷 浩一郎

私はこれまで、読書の際に気になった言葉や、感銘を受けた文章をノートに書き留めてきました。今回は、それらのメモのなかから、読書に関するものをいくつか紹介させていただきます。いずれの言葉も英語で書かれたものですが、日本語は私が訳したものです。

You shouldn't judge a book by its cover.

「表紙だけで本の価値を判断すべきではない。」

この言葉は、外見だけで人や物の価値を判断してはいけないという格言・戒めの言葉としてよく耳にしますね。ですが、CDやDVDを「ジャケ買い」してしまうことがあるのと同じように、表紙や宣伝用の帯のメッセージに惹かれて本を買うのも楽しいものです。

A book should serve as the ax for the frozen sea within us.

「書物は我々の心の中にある凍てついた海の氷を砕く斧のようなものであるべきだ。」

これはチェコの小説家 Franz Kafka（カフカ）の言葉です。Kafka といえば、『変身』『審判』『城』などの作品で有名ですが、学生のみなさんにとっては村上春樹の『海辺のカフカ』の方が馴染みがあるかもしれませんね。

**The reading of all good books is like a conversation
with the finest men of past centuries.**

「あらゆる良書を読むことは、過去に存在した最高に素晴らしい人々と
会話するようなものだ。」

これはフランスの哲学者 Rene Descartes（デカルト）の言葉です。古典作品を読むことの意義をわかりやすく例えてくれていますね。

**Knowledge is of two kinds: We know a subject ourselves,
or we know where we can find information upon it.**

「知識には2種類ある。ある事柄そのものを知っていること、
そして、それに関する情報がどこにあるかを知っていることである。」

これは、辞書編纂者として有名な Samuel Johnson 博士の言葉です。ある事柄について詳しく知らなくても、そのことに関する詳細を記した書物がどこにあるか知ってさえいれば、知っていることと同義であるというメッセージは、たいへんな苦労を重ねながら、初めて本格的な英語辞典の編纂に取り組んだ当事者ならではのものだと感じます。

**If one cannot enjoy reading a book over and over again,
there is no use reading it.**

「何度も楽しく繰り返し読むことができないのであれば、そんな本は読むに値しない。」

これはアイルランド生まれの詩人・劇作家・小説家・批評家・そして稀代の毒舌家として有名な Oscar Wilde（ワイルド）の言葉です。Wilde の代表作には『ドリアン・グレイの肖像画』『サロメ』『幸福な王子』などがあります。本当に良い書物とは、何度でも繰り返し読むことができ、その度にあらたな発見・以前とは異なる印象が得られるものだ、ということをよく耳にします。みなさんにもそのような本がありますか。私にとっては、夏目漱石の『三四郎』や J.D. Salinger（サリンジャー）の短編小説が該当します。

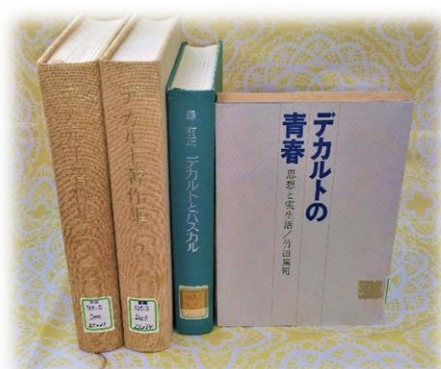
今回紹介した言葉のなかに、ひとつでも皆さんの共感を得られるものがあれば幸いです。これ以外にも、みなさんが知っているものがあれば、ぜひ私に紹介してください。

図書館がリニューアルオープンして半年近く経ちますが、感染予防対策のために施設が思うように活用できず、利用者みなさまには不自由をおかけしています。これから読書の秋を迎えますので、図書館としても安全対策に万全を期

したうえで、快適な読書環境を整えていきたいと思ひます。みなさまのご来館を心よりお待ちしております。



カフカ作品から数冊をご紹介します。朝読書に選ばれている本もありますので、手に取りやすいと思ひます。



デカルトの著書とデカルトに関する著書を数冊ご紹介。これらの本を持っているだけで、とても賢い人間になれた気になってしまいそうです！



オスカー・ワイルドの作品は、蔵書が少なめです。けれど、子どもの頃児童文学に親しまれた方にとっては懐かしいタイトルではないでしょうか。



夏目漱石の作品は、重厚な装丁の全集から青い鳥文庫まで、たくさん揃っています。笹谷先生が紹介された『三四郎』はモダンな装丁のものを選んでみました。

「私の読書の始まり」



物質工学科 平沢 大樹

都城高専の皆様、はじめまして。本年度より物質工学科の新任教員として着任しました『平沢大樹』と申します。これまで経験がないコロナ禍の中、外出することもままならず読書などインドアの活動が多くなっていることと思います。私は読書ではなく、動画配信サービスで映画などをだらだらと見ながら家にいました。この通り、全く読書家では無い私が読書について書くのはおこがましいですが、これまでの読書経験を書くように依頼されました。皆様のためになるような経験やおすすめの本もありませんが、書かせていただきます。

私の読書経験の最初は中学生の夏休みの課題で読書感想文を書くために『ハリーポッター』シリーズを読んだことでした。読書は映像作品と比べて、1作品を見るのにかなりの時間を必要とするので、積極的に読むことはありませんでした。一方で、映画とか漫画はそれなりに見る子供だったので、映画を見たことがあったハリーポッターを宿題として読んでみることにしました。映像として見たことのあるものを文として読むのは場面を思い浮かべることが容易で、読書をはじめると掛かりになりました。また、原作にしかない部分を読んで物足りなかった部分やその削られた部分を読むことで初めて理解できる点なども多くありました。

私は皆さんと同じく高専出身で、多くの高専生のように専門の勉強だけでなく、アニメも見るようになりました。原作の漫画を見る一方で、多くの作品がライトノベル(小説)原作であることを知りました。アニメも映画同様に原作からカットされている部分も多くあるので、面白いと思った作品を読んで見るのもいいと思います。私も今はなかなか時間を取ることができていませんが、これまで買

ってきた漫画やラノベの新刊が発売されれば買っています。なので、多くの本が本棚に溜まってきています。今年は都城高専に来たばかりで、ドタバタしているので落ち着いたらこれらの本を少しずつ読んでいきたいと思っています。

読書好きな学生さんからみると文庫本も読まずに漫画やライトノベルしか読んでいないような奴の読書経験なんて価値のないものだと思いますが、今まで読書に興味がなかった方はドラマやアニメの原作などから入るのもいいのではないのでしょうか？



皆さんご存じのハリーポッターシリーズです。

『賢者の石』からはじまり『秘密の部屋』『アズカバンの囚人』……。皆さんは何作目まで読まれたでしょうか。ハリーポッターがはじめての方も、途中からの方も、そしてもう一度の方も、この秋、手にとってみられてはいかがでしょうか。

「読書を通して感じたこと」



物質工学科 藺田 史恵

本年度4月に技術職員となりました、藺田史恵です。今は物質工学科で、実験の指導や支援を主な仕事として勤務しております。

今回、この図書館だよりへの寄稿文の依頼を受け、どのような内容とするかとも悩みました。なぜなら社会人となって以降、忙しさ等を言い訳にしてほとんど読書をする事がなかったからです。

そこで、自分がよく本を読んでいた学生時代に一番好きだった本は何かを考えてみました。私はファンタジー系統の物語が好きで、特に時間を忘れて読みふけていたのがハリーポッターシリーズです。映画にもなっているのでご存じの方も多いかと思います。私自身も映画を見てからすぐ原作を買って読み始めました。原作では映画にはない主人公達の学校生活での詳細な出来事なども多く描かれており、より一層物語の世界観を理解する事ができて本による面白さを感じました。

そんな当時を思い出したことで懐かしい気持ちになり、また読んでみようかと家にしまってあった本を引っ張り出しました。読み始めてすぐに私はあることに気付きました。それは、当時と今では本から受ける印象が違っているということです。例えば、当時私は主人公のおば一家のことを主人公をいじめるとても嫌な人達だと思っていました。しかし、自分が子供を持つ世代になり、お母さんとなった友人や最近子供を産んだいところから『自分の子が一番かわいい』と聞き、そのわが子を愛でる様子などから自分の子を優先するおば夫婦の気持ちも分からなくはないなと思うようになったのです。

これは、私が社会に出て様々なことを学び、実際に体験することで多少なりとも成長できたことにより、物事を多方面から捉え自身の類似した経験を通して考えることができるようになったためだと思います。本の内容もちろん面

白いですが、今回は一気に読むのではなく、当時とは違いがある今の自分の感想も楽しみながらじっくりと読み進めています。

コロナ渦の中、本を読みたくても図書館に行くことを敬遠してしまうこともあるかと思いますが、そんな時は家にあるしばらく読んでいない本に手を伸ばすことをおすすめしたいです。きっと自分の変化や新たな発見などを感じられると思います。



ハリーポッターシリーズの洋書（英語版）は、5作目『ハリーポッターと不死鳥の騎士団』まで揃えています。いずれもずっしりと重い本ですが、ページを開くと単語も見やすく、案外読み進められるかもしれません。原書の挿絵も味わい深いものです。

今年こそ、読書の秋にしたい

新型コロナ禍で続く「巣ごもり」の日々。スマホやゲームもほどほどにしたい。そんな今年こそ、読書で秋を満喫しませんか。けれども、どうやって本を選べばいいのだろう？ そんな方に、本選びのヒントをご紹介します。



2020年各種文学賞受賞作品をヒントに。

芥川龍之介賞（『首里の馬』高山羽根子 『破局』遠野遥）

「・・・雑誌（同人雑誌を含む）に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品のなかから、最も優秀な作品に贈られる賞です・・・」（公財）日本文学振興会 HP より

直木三十五賞（『少年と犬』馳星周）

「・・・新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）のなかから、最も優秀な作品に贈られる賞です・・・」

（公財）日本文学振興会 HP より

本屋大賞（『流浪の月』 凧良ゆう）

「・・・新刊書の書店（オンライン書店も含みます）で働く書店員の投票で決定するものです・・・」本屋大賞 HP より

日本SF大賞（『天冥の標（全10巻）』小川一水 『宿借りの星』西島伝法）

「・・・SFを専業とするものの責任において、各年度における最もすぐれた業績を選び出し、これを『日本SF大賞』の形で表彰する・・・」日本SF作家クラブ HP より

谷崎潤一郎賞（『日本蒙昧前史』磯崎憲一郎）

「・・・明治・大正・昭和を通じて、幅広いジャンルで活躍した谷崎の業績にちなみ、時代を代表する優れた小説・戯曲を顕彰します。」中央公論新社 HP より

中央公論文芸賞（『家族じまい』桜木紫乃）

「・・・第一線で活躍する作家のさらなる飛躍、新たな代表作となる優れたエンターテインメント作品を顕彰します。」中央公論新社 HP より

読売文学賞（『君が異端だった頃』島田雅彦）

「・・・「小説」、「戯曲・シナリオ」、「評論・伝記」、「詩歌俳句」、「研究・翻訳」、「随筆・紀行」の全6部門で前年の最も優れた作品を選んでおり、国内唯一の総合文学賞として定着しています・・・」読売新聞社 HP より

ネットをヒントに。

Webcat Plus (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)

使われている言葉を頼りに、関心のある本を探ることができる連想検索サービス。

想—IMAGINE Book Search (<http://imagine.bookmap.info/index.jsp>)

現代を読み解く 1000 のテーマや Wikipedia の 23 万項目を基点に本を探せる書籍検索サイト。

新刊 JP (<http://www.sinkan.jp/top/index.html>)

話題の新刊書籍の紹介サイト。

bukupe (<http://bukupe.com/>)

本の要点・概要・まとめが読めるサービス。

Quickreads (<http://quick-reads.com/>)

話題の本や良書のエッセンスを 3 分で読める長さで配信しているスマホアプリ。

HONZ (<http://honz.jp/>)

厳選された読み手が、何冊もの本を読み、そのなかから 1 冊を選び出して「おすすめ本」を紹介するサイト。

テレビ・ラジオの本紹介番組をヒントに。

NHK Eテレ「100分 de 名著」 (<https://www.nhk.or.jp/meicho/>)

「一度は読みたいと思いつつも、手に取ることをためらってしまったり、途中で挫折してしまった古今東西の“名著”。この番組では難解な 1 冊の名著を、25 分×4 回、つまり 100 分で読み解いていきます。・・・」番組 HP より

東京 FM「Panasonic Melodious Library」 (<https://www.tfm.co.jp/ml/>)

「・・・毎週、「文学遺産」と考えられる作品の中から一冊を選び出し、小川洋子氏の解説により、名作の新たな楽しみ方を伝えていきます。・・・」番組 HP より

そして、図書館散歩で。

本校図書館では、理系を専門とする皆さんに興味を持っていただけるような本も、多く配架しています。4 月よりリニューアルした図書館へ散歩にいらしてください！

新型コロナ禍の図書館

2020年度は、各方面において前例のないスタートとなりました。本校も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休校・遠隔授業・分散登校と、学生や保護者の方々は勿論のこと、教職員も模索の日々が続いています。そんな中、図書館はどのような対応を取ったのか、そして今後「with コロナ」の暮らしの中で、図書館が取り組むべきこととは何なのかを考えています。

令和2年度前期の本校図書館の対応

- 「新しい生活様式」の遵守（入館時の手指の消毒、マスクの着用、3密の回避、換気）
- 休館（休校期間中）または一時開館（分散登校期間中 9:00～16:00、土曜日閉館）
- 利用者を制限（本校学生・教職員のみ）
- 利用施設の定期的な消毒・カウンターにアクリル製パーティションの設置
- 返却図書を24時間以上経過したのちに配架
- 開架内閲覧室の開放。（8月4日より）

「with コロナ」で果たすべき図書館の役割

安全対策のため、図書館の利用時間・利用施設を制限したことで、当然ながら入館者数は大幅に減少してしまいました。前期は登校日数・登校者数が限られていたことを考慮しても、今回の入館者数の減少は、図書館にとって大変厳しい現実を突きつけられました。まだまだ続く「with コロナ」の暮らしの中で、図書館が果たすべき役割とは何かについて、検討を重ねながら、試行錯誤の日々が続いています。

令和2年度前期の対応を経て、図書館が今後取り組むべきこと

- 安全な学修施設を提供し、利用者の学びを支援していくこと。
 - アクティブエリアである第2閲覧室とICT自習室についても、サイレントエリアと同様に席数を減らすことでソーシャルディスタンスを確保し、利用可能とする。
- 安全を第一に考慮しながら、利用時間を平常時に戻すこと。
 - 学校が定める条件を満たす場合は、10月1日から平日の開館時間の延長（9:00～20:00）・土曜日開館（9:00～17:00）とする。
- 現在のコロナ禍において、学内でリラックスできる場所を提供すること
 - リニューアルした図書館を、新型コロナ禍に対応させ更なる安全を確保した上で、利用者が快適に集える場所になるよう改善を重ねていく。

令和2年度10月1日からの図書館の対応について

図書館が今後取り組むべきことを考慮し、10月1日からの図書館の対応は以下のとおりといたします。なお、今後の状況に対応して、変更が生じる場合がありますので、最新の情報は図書館ホームページで確認していただくようお願いします。

総合 レベル	平日 開館時間	土曜日 開館時間	夜間	施 設					
				開架	閲覧室	第二 閲覧室	ICT 自習室	ミーティ ング ルーム	DVD 視聴エリア
0 (対面授業)	9:00 20:00	9:00 17:00	○	○	○	○	○	○	○
1 (対面授業)	9:00 20:00	9:00 17:00	○	○	○	○	○	×	×
2 (分散登校)	9:00 16:00	休館	×	○	×	×	×	×	×
3 (原則 遠隔授業)	休館	休館	×	×	×	×	×	×	×
4 (遠隔授業)	休館	休館	×	×	×	×	×	×	×
5 (休校)	休館	休館	×	×	×	×	×	×	×

※こちらで示す「総合レベル」とは、「都城工業高等専門学校新型コロナウイルス感染症対策行動計画」に基づく対応基準におけるものです。

※外部利用の方（本校学生の保護者を含む）は、当面の間いずれのレベルにおいても利用できません。

新着図書（2020年4月～9月）の紹介

『感染症：ウイルス・細菌との闘い』中西真人編 日経サイエンス

『生命はデジタルでできている：情報から見た新しい生命像』田口善弘著 講談社

『5G：大容量・低地円・多接続のしくみ』岡嶋裕史著 講談社

『首里の馬』高山羽根子著 新潮社

『少年と犬』馳星周著 文藝春秋

『破局』遠野遥著 河出書房新社

『アメリカの黒人演説集：キング・マルコムX・モスリン他』荒このみ編訳 岩波書店

『僕らはそれに抵抗できない：「依存症ビジネス」のつくられかた』

アダム・オルター著 ダイアモンド社

『ゲノム編集とはなにか：「DNA のハサミ」クリスパーで生命科学はどう変わるのか』

山本卓著 講談社ブルーバックス新書

『温暖化で日本の海に何が起こるのか：水面下で変わりゆく海の生態系』

山本智之著 講談社

※これらの他にも多くの本が、「新着図書」「推薦図書」コーナーに配架されています。

※新着図書の一部は、図書館1Fにて紹介しています。ぜひご覧ください。

※本購入のリクエストも受け付けております。詳しくは図書館窓口までどうぞ。

故 森茂龍一教授の蔵書が配架されました。

2017年12月に急逝された、モンゴルリエゾンオフィス所長（前本校一般科目教授）森茂龍一先生のご家族から、先生が所有されていた蔵書の一部を寄贈していただき、この度配架が整いました。寄贈していただいた本は開架にございますので、どうぞ手に取ってご覧ください。貸出も可能です。

編集後記

○今号は、学生図書委員の皆さんが不在の「図書館だより」の製作となりました。再び一緒に製作できる日を楽しみにしたいと思います。

○4頁・6頁の写真で平沢先生・園田技術職員と一緒に写っていたのは、1～3年生の特活授業で「図書館バーチャルツアー」に登場したペープサート（紙人形）です。一緒に写ると、先生方の表情もやわらかくなられたような気がします。ご協力ありがとうございました。

○図書館長も述べられていたとおり、リニューアル後なかなか満足に図書館を利用していただけない状態が続いております。完全開館するまでの間、皆様の学ぶ心をくすぐるような図書館となるよう、さらなる準備を進めます。皆様のご要望も、ぜひお聞かせください。

図書館からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在利用制限を設けての開館となっております。

図書館の最新情報は、本校図書館ホームページ「お知らせ」をご覧ください。皆様のご協力に感謝いたします。

図書館ホームページ「お知らせ」 <https://www.miyakonojo-nct.ac.jp/library/topics/>

【図書館からのお願い】

- 来館の際は、マスクをご着用ください。
- 入口に設置しております消毒液で、手指の消毒をお願いします。
- ソーシャルディスタンスにご配慮ください。
- 開館時間が限定されていることがあります。
詳しくは、本校図書館ホームページにてご確認ください。
- 本校学生・教職員のみ利用に限定しております。(2020年9月現在)

こちらのポスターを、館内のあちこちに掲示しています。全部で何枚貼ってあるかな。図書館に来て数えてみてね。



